

旧鈴木家屋敷跡地見学会のご案内

鈴木家は、室町時代（650 年前）から続いて来た格式の高い庄屋で、家康の側室・阿茶局が預けられたとの話も伝えられる名家です。代々の名主は地域の発展に大きな功績を残しましたが、平成 22 年、遺族より浜松市に寄贈されました。

今年も以下のように見学会を開催しますのでご案内いたします。

（3 回開催しますので、都合のよろしい日時にお出かけください）

平成 29 年 12 月 2 日（土） 午後 1 時 30 分～

12 月 3 日（日） 午前 10 時～ 午後 1 時 30 分～

見学メニュー

弓道場射場（掃一庵）

改築され、来場者の休憩所になっています。室内の展示物を見ながら、担当者の説明をお聞きましょう。

母屋

縁側サイドから室内の様子や収蔵物をご覧いただけます。（多世代交流の拠点にするため、現在関係者で検討中です）

離れ屋

室内に入って見学いただけます。

その他の建物

外観のみの見学になります。

出土品の展示

屋敷内から多くの出土品が見つかっており、「万斛西遺跡」と名付けられています。

主催 積志地区自治会連合会

共催 旧鈴木家屋敷跡地活用協議会

NPO 法人 旧鈴木家跡地活用保存会

建物のうち、裏門、土蔵、納屋については、老朽化が激しく崩落の危険があるため、市の方針により解体・撤去されました。（資料等で在りし日の姿を偲んでください）

車でお越しの方は、矢印に沿って
駐車場に止めて下さい。

